



社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリのセットアップ

- [ディレクトリ サービスの設定](#) (1 ページ)
- [LDAP 設定](#) (5 ページ)
- [BroadSoft 設定の構成](#) (17 ページ)
- [パーソナル ディレクトリを設定する](#) (29 ページ)
- [名前の逆引きルックアップを有効にする](#) (29 ページ)

ディレクトリ サービスの設定

ディレクトリサービスを使用すると、ディレクトリの表示を制御できます。

- 個人用アドレス帳
- すべての有効なディレクトリ

また、ディレクトリブラウザモードと電話機に表示される連絡先の最大数も制御します。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
 - ステップ 2** ディレクトリサービスで、[ディレクトリ サービスのパラメータ](#) (2 ページ) の説明に従ってフィールドを設定します。
 - ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

ディレクトリサービスのパラメータ

次の表で、電話機のウェブインターフェイスの[音声 (Voice)]>[電話 (Phone)]タブにある[ディレクトリサービス (Directory Services)]セクションにおける、パラメータの機能と使用方法を定義します。また、パラメータを設定するために、XMLコードを含む電話設定ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 1: ディレクトリサービスのパラメータ

パラメータ	説明
パーソナルディレクトリの有効化	<p>電話機のユーザに対して個人用アドレス帳ディレクトリを有効にします。</p> <p>ディレクトリを有効にする場合は[はい (Yes)]を選択し、無効にする場合は[いいえ (No)]を選択します。</p> <p>ディレクトリを無効にすると、次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザは個人用アドレス帳から連絡先を検索できない ユーザは個人用アドレス帳に連絡先を追加できない <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Personal_Directory_Enable ua="na">Yes</Personal_Directory_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいに設定して、個人用アドレス帳ディレクトリを有効にします。 <p>有効値: [はい (Yes)] [いいえ (No)]</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>

パラメータ	説明
すべての有効化を検索する	<p>電話機のユーザがすべてのディレクトリで連絡先を検索できるかどうかを決定します。</p> <p>検索操作を有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。</p> <p>すべてのディレクトリには、優先順位が高い順に次のディレクトリが含まれています。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 個人用アドレス帳2. BroadSoft ディレクトリ3. LDAP ディレクトリ4. Bluetooth 電話ディレクトリ <p>すべてのディレクトリには、有効なディレクトリのみが含まれています。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <code><Search_All_Enable ua="na">Yes</Search_All_Enable></code>• 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドを はい に設定して、検索操作を有効にします。 <p>有効値: [はい (Yes)] [いいえ (No)]</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>

パラメータ	説明
ブラウザモードの有効化	<p>電話機にディレクトリを入力したときに、自動プリロード操作をトリガーして連絡先を表示するかどうかを決定します。</p> <p>すべてのディレクトリの参照モードを有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Browse_Mode_Enable ua="na">Yes</Browse_Mode_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドを はい に設定して、参照モードを有効にします。 <p>有効値: [はい (Yes)] [いいえ (No)] デフォルト: [いいえ (No)]</p>

すべてのディレクトリでの連絡先検索の無効化

デフォルトでは、ユーザは電話機のすべてのディレクトリで連絡を検索できます。この機能が無効にするように、電話機を設定することができます。その後、ユーザは、1つのディレクトリでしか連絡先を検索できません。

この手順を完了すると、電話画面のディレクトリメニューに **すべてのディレクトリオプション** が表示されなくなります。

次の形式の文字列を使って、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Search_All_Enable ua="na">No</Search_All_Enable>
```

有効値は、はいまたはいいえです。デフォルト設定は、はいです

手順

-
- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
 - ステップ 2** ディレクトリサービスセクションで、**すべて検索の有効化** フィールドを **いいえ** に設定します。
 - ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

パーソナルディレクトリの無効化

デフォルトでは、パーソナルディレクトリは電話機上で有効になっています。電話機の Web インターフェイスからパーソナルディレクトリを無効にすることができます。パーソナルディレクトリを無効にすると、次のようになります。

- パーソナルディレクトリタブは、電話機の Web インターフェイスに表示されません。
- ディレクトリ電話画面に 個人用アドレス帳オプションが表示されません。
- ユーザは、通話履歴または他のディレクトリからパーソナルディレクトリに連絡先を追加することはできません。
- 電話機は、ユーザがすべてのディレクトリで連絡先を検索するときに、パーソナルディレクトリをスキップします。
- ユーザがキーパッドを使用して番号をダイヤルしたり、着信通話があったりすると、電話機は、ディレクトリで一致する番号を検索するときにパーソナルディレクトリをスキップします。

次の形式の文字列を使って、設定ファイル(cfg.xml)でパラメータを設定することもできます。

```
<Personal_Directory_Enable ua="na">No</Personal_Directory_Enable>
```

有効値は、はいまたはいいえです。デフォルト設定は、はいです

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 ディレクトリサービスセクションで、パーソナルディレクトリの有効化フィールドをいいえに設定します。

デフォルトでは、このフィールドははいに設定されています。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

LDAP 設定

Cisco IP 電話は Lightweight ディレクトリアクセスプロトコル (LDAP) v3 に対応しています。LDAP 社内ディレクトリ検索では、名前、電話番号、またはその両方を指定した LDAP ディレクトリで検索できます。Microsoft Active Directory 2003 や OpenLDAP ベースのデータベースなどの、LDAP ベースのディレクトリがサポートされています。

ユーザは IP フォンの [ディレクトリ (Directory)] メニューから LDAP にアクセスします。LDAP 検索では、最大 20 のレコードが返されます。

このセクションの手順では、LDAP サーバ (OpenLDAP または Microsoft Active Directory サーバ 2003 など) がインストールされていることを前提としています。

LDAP 社内ディレクトリ検索の準備

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [システム (System)] を選択します。

ステップ 2 [IPv4設定 (IPv4 Settings)] セクションで、[プライマリDNS (Primary DNS)] フィールドに DNS サーバの IP アドレスを入力します。

この手順は、認証が MD5 に設定された Active Directory を使用している場合にのみ必要です。次の形式で文字列を入力すると、設定ファイルでこのパラメータを設定できます。

```
<Primary_DNS ua="na">10.74.2.7</Primary_DNS>
```

ステップ 3 [オプションのネットワーク設定 (Optional Network Configuration)] セクションの [ドメイン (Domain)] フィールドに LDAP ドメインを入力します。

この手順は、認証が MD5 に設定された Active Directory を使用している場合にのみ必要です。一部のサイトでは、DNS を内部で導入せず、代わりに Active Directory 2003 を使用することがあります。その場合はプライマリ DNS のアドレスと LDAP ドメインを入力する必要はありません。ただし、Active Directory 2003 では認証が単純認証方式に制限されます。

次の形式で文字列を入力すると、設定ファイルでこのパラメータを設定できます。

```
<Domain ua="na">LDAPdomainname.com</Domain>
```

ステップ 4 [電話機 (Phone)] タブをクリックします。

ステップ 5 [LDAPディレクトリのパラメータ \(6 ページ\)](#) の説明に従って、LDAP フィールドを設定します。

ステップ 6 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

LDAPディレクトリのパラメータ

次の表で、電話機のウェブインターフェイスの [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] タブにある [LDAP] セクションにおける LDAP ディレクトリパラメータの機能と使用方法を定義します。また、パラメータを設定するために、XML コードを含む電話設定ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 2: LDAPディレクトリのパラメータ

パラメータ	説明
[LDAPディレクトリ有効 (LDAP Dir Enable)]	<p>LDAP ディレクトリを有効または無効にします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Dir_Enable ua="na">Yes</LDAP_Dir_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスでは、このフィールドを [はい (Yes)] または [いいえ (No)] に設定して、LDAP ディレクトリを有効または無効にします。 <p>有効値: はい と いいえ デフォルト: [いいえ (No)]</p>
[社内ディレクトリ名 (Corp Dir Name)]	<p>「社内ディレクトリ」など、自由形式のテキストで名前を入力します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Corp_Dir_Name ua="na">Coprorate Directory</LDAP_Corp_Dir_Name></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、社内ディレクトリの名前を入力します。 <p>有効な値: 63 文字以下のテキスト文字列 デフォルト: 空</p>
サーバ (Server)	<p>LDAPサーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはIPアドレスを入力します。</p> <p>MD5 認証方式が使用されている場合は、LDAP サーバのホスト名を入力します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Server ua="na">ldapservers.com</LDAP_Server></pre> 電話のウェブインターフェイスで、LDAPサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します。 <p>デフォルト: 空</p>

パラメータ	説明
[検索ベース (Search Base)]	<p>検索するディレクトリツリーで開始点を指定します。ドメインコンポーネント (dc) はカンマで区切ります。次に例を示します。</p> <pre>dc=cv2bu,dc=com</pre> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Search_Base ua="na">dc=cv2bu,dc=com</LDAP_Search_Base></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、検索ベースを入力します。 <p>デフォルト：空</p>
[クライアントDN (Client DN)]	<p>識別名 (DN) ドメインコンポーネント (dc) を入力します。次に例を示します。</p> <pre>dc=cv2bu,dc=com</pre> <p>デフォルトの Active Directory スキーマ (Name(cn)->Users->Domain) を使用している場合、クライアント DN の例は次のようになります。</p> <pre>cn="David Lee",dc=users,dc=cv2bu,dc=com</pre> <pre>cn="David Lee",dc=cv2bu,dc=com</pre> <p>username@domain は、Windows サーバのクライアント DN 形式です。</p> <p>例：DavidLee@cv2bu.com</p> <p>このパラメータは、Authメソッドがシンプルに設定されている場合に使用できます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Client_DN ua="na">dc=cv2bu,dc=com</LDAP_Client_DN></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、クライアントドメイン名を入力します。 <p>デフォルト：空</p>

パラメータ	説明
ユーザ名	<p>LDAPサーバに対するクレデンシャルを持つユーザのユーザ名を入力します。</p> <p>このパラメータは、Auth メソッドがDIGEST-MD5に設定されている場合に使用できます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_User_Name ua="na">dc=cv2bu,dc=com</LDAP_User_Name></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、ユーザ名を入力します。 <p>デフォルト：空</p>
[パスワード (Password)]	<p>ユーザがログイン情報を入力せずにLDAPディレクトリにアクセスできるようにする場合は、ユーザのパスワードをこのフィールドに入力します。特定のユーザのアクセスを許可する場合は、このフィールドを空のままにします。</p> <p>電話機は、LDAPディレクトリにアクセスするためのログイン情報を要求します。</p> <p>電話機のログイン情報をユーザが入力すると、このフィールドと設定ファイルが更新されます。</p> <p>このフィールドに入力したパスワードは、設定ファイル (cfg) に次のように表示されます。</p> <pre><!-- <LDAP_Password ua="na">*****</LDAP_Password >--></pre> <p>デフォルト：空</p>

パラメータ	説明
[認証方式 (Auth Method)]	<p>LDAP サーバに必要な認証方式を選択します。選択肢は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [なし (None)] : クライアントとサーバ間では認証は使用されません。 • [シンプル (Simple)] : クライアントから LDAP サーバに完全修飾ドメイン名とパスワードが送信されます。セキュリティの問題が生じる可能性があります。 <p>選択されている場合、電話機は クライアント DN と パスワード ログイン情報を入力して、LDAP ディレクトリにアクセスします。</p> <p>一方または両方のログイン情報が空の場合、クライアントを認証するために使用される操作は、匿名の簡易バインドです。操作が成功するかどうかは、LDAP サーバがサポートしているかどうかによって異なります。</p> <p>次のいずれかの場合には、ユーザのログイン情報を入力しなくても、LDAP ディレクトリにアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザのログイン情報が電話機にキャッシュされます。 • LDAP サーバによって匿名シンプルバインド操作が許可され、操作が正常に行われます。また、空のログイン情報のパラメータ LDAP プロンプトはいいえに設定されます。 • [Digest-MD5] : LDAP サーバからクライアントに認証オプションとトークンが送信されます。クライアントから暗号化された応答が返され、サーバによって復号化されて検証されます。 <p>選択されている場合、電話機は ユーザ名 と パスワード のログイン情報を入力して、LDAP ディレクトリにアクセスします。</p> <p>ログイン情報が電話機にキャッシュされている場合、ユーザのログイン情報を入力しなくても、LDAP ディレクトリにアクセスできます。</p> <p>詳細については、LDAP ディレクトリ サービスの概要 (16 ページ) を参照してください。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Auth_Method ua="na">Simple</LDAP_Auth_Method></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話のウェブインターフェイスで、認証方法を選択します。 <p>デフォルト : なし</p>

パラメータ	説明
空のログイン情報のLDAPプロンプト	<p>電話機でユーザー認証が行われていない場合は、LDAPサインインプロンプトを有効または無効にします。この関数は、匿名の簡易バインド操作を含む単純な認証方法でのみ使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 値がはいの場合、電話機は常にLDAPのログイン情報を要求します。LDAPサーバーが匿名簡易バインドをサポートしている場合、ユーザーはLDAPディレクトリにアクセスするためにログイン情報を入力するか、または空のままにすることができます。 • 値がいいえの場合、ユーザーは、匿名の簡易バインド操作が成功したときにLDAPディレクトリに直接アクセスできます。 <p>LDAPサーバーが匿名簡易バインド(空のログイン情報)をサポートしていない場合は、ユーザーはクライアントDNとパスワードを入力してLDAPディレクトリにアクセスする必要があります。</p> <p>このパラメータは、電話機の管理Webページには表示されません。パラメータ設定は、次の手順に従います。</p> <p>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</p> <pre><LDAP_Prompt_For_Empty_Credentials ua="na">Yes</LDAP_Prompt_For_Empty_Credentials></pre> <p>有効値: はいと いいえ デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
StartTLSの有効化	<p>トランスポートレイヤセキュリティの開始(StartTLS)操作を有効または無効にします。LDAPセッションでTLSを確立する機能を提供します。</p> <p>StartTLSの有効化がはいに設定されている場合、電話機の動作はLDAPサーバの設定によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> LDAPサーバが「ldap://server:port」として定義されている場合、電話機はLDAPサーバにStartTLSリクエストを送信します。 LDAPサーバが「ldaps://server:port」として定義されている場合、電話機はTLS経由上のLDAP操作を直接実行します。 <p>StartTLSの有効化がいいえに設定されている場合、電話機の動作はLDAPサーバの設定によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> LDAPサーバが「ldap://server:port」として定義されている場合、電話機はLDAP操作を実行します。 LDAPサーバが「ldaps://server:port」として定義されている場合、電話機はLDAP操作を実行します。 <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_StartTLS_Enable ua="na">Yes</LDAP_StartTLS_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいまたはいいえに設定して、StartTLS操作を有効または無効にします。 <p>有効値: はいといいえ デフォルト: [いいえ (No)]</p>
[姓フィルタ (Last Name Filter)]	<p>これは、一部のロケーションでは姓と呼ばれている名字 (sn) の検索を定義します。例、sn:(sn=*\$VALUE*)。この検索では、指定したテキストが名前の先頭、中間、または最後のどこにあっても一致となります。</p> <p>デフォルト: 空白</p>
[名フィルタ (Last Name Filter)]	<p>これは共通名 (cn) の検索を定義します。例、cn:(cn=*\$VALUE*)。この検索では、指定したテキストが名前の先頭、中間、または最後のどこにあっても一致となります。</p> <p>デフォルト: 空白</p>

パラメータ	説明
[検索項目3 (Search Item 3)]	<p>追加のカスタマイズされた検索項目。 不要な場合は空白にできます。</p> <p>このパラメータは、LDAPディレクトリの予約名ルックアップ機能にのみ使用されます。 この機能の詳細については、名前の逆引きルックアップを有効にするを参照してください。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Search_Item_3 ua="na">search_item</LDAP_Search_Item_3></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、検索する追加項目の名前を入力します。 <p>デフォルト：空</p>
[検索項目3フィルタ (Search Item 3 Filter)]	<p>検索対象項目のカスタマイズされたフィルタ。 不要な場合は空白にできます。</p> <p>このパラメータは、LDAPディレクトリの予約名ルックアップ機能にのみ使用されます。 この機能の詳細については、名前の逆引きルックアップを有効にするを参照してください。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Item_3_Filter ua="na">cn:(cn=John*)</LDAP_Item_3_Filter></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、フィルタを入力します。 <p>デフォルト：空</p>
[検索項目4 (Search Item 4)]	<p>追加のカスタマイズされた検索項目。 不要な場合は空白にできます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Search_Item_4 ua="na">search_item</LDAP_Search_Item_4></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、検索する追加項目の名前を入力します。 <p>デフォルト：空</p>

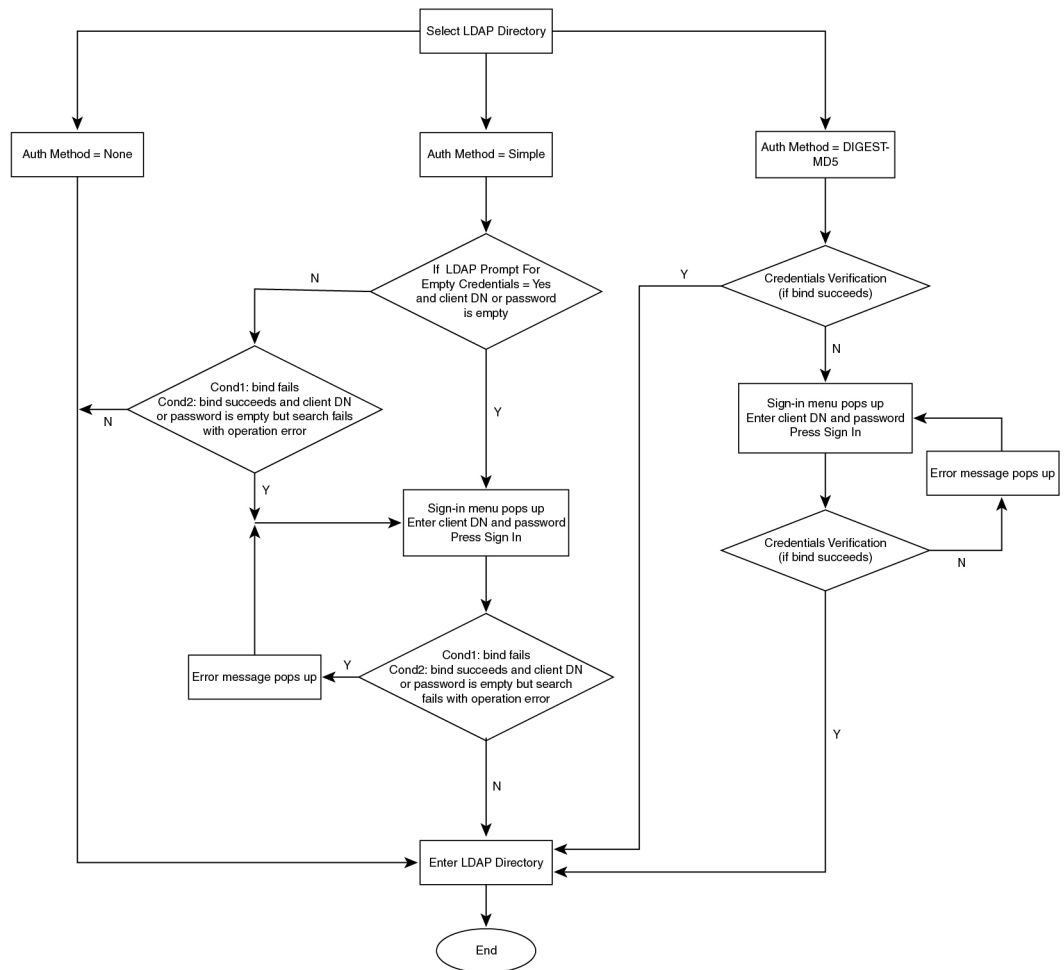
パラメータ	説明
[検索項目4フィルタ (Search Item 4 Filter)]	<p>検索対象項目のカスタマイズされたフィルタ。不要な場合は空白にできます。次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <code><LDAP_Item_4_Filter ua="na">cn:(cn=John*)</LDAP_Item_4_Filter></code>• 電話機のウェブインターフェイスで、フィルタを入力します。 <p>デフォルト：空</p>

パラメータ	説明
[表示属性 (Display Attrs)]	<p>電話機に表示される LDAP 結果のフォーマット。</p> <ul style="list-style-type: none"> • a : 属性名 たとえば、a=telephoneNumber は、属性名が電話番号に使用されることを意味します。 その他の一般的な値 : facsimileTelephoneNumber、mobile、mobiletelephonenumber、iphone、homephone、otherphone、および pagertelephonenumber • cn : 共通名 • sn : 名字 (姓) • n : 表示名 たとえば、n=Phone とすると、詳細ソフトキーを押したときに LDAP クエリ結果の電話番号の先頭に「Phone」と表示されます。 • t : タイプ t=p、つまり、tが電話番号の場合は、取得した番号をダイヤルすることができます。ダイヤル可能な番号は1つだけです。2つの番号をダイヤル可能な番号として定義した場合、最初の番号だけが使用されます。例、a=ipPhone, t=p; a=mobile, t=p; この例では、IP 電話番号だけがダイヤル可能で、携帯電話番号は無視されます。 • p : 電話番号 t=p のように p がタイプ属性に割り当てられる場合は、検索された番号を電話機からダイヤルすることができます。 例、 a=givenName, n=firstname; a=sn, n=lastname; a=cn, n=cn; a=telephoneNumber, n=tele, t=p <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Display_Attrs a=givenName, n=firstname; a=sn, n=lastname; a=cn, n=cn; a=telephoneNumber, n=tele, t=p></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、表示する属性を入力します。 <p>デフォルト : 空</p>

パラメータ	説明
[番号マッピング (Number Mapping)]	<p>LDAP 番号マッピングを使用すれば、LDAPサーバから検索された番号を操作することができます。たとえば、ダイヤルする前に 9 を入力する必要があるダイヤルプランの場合は、番号に 9 を追加することができます。プレフィックス 9 を追加するには、[LDAP番号マッピング (LDAP Number Mapping)] フィールドに (<:9xx.>) を追加します。たとえば、555 1212 は 9555 1212 になります。</p> <p>この方式で番号を操作しない場合、ユーザはダイヤル編集機能を使用して、ダイヤルアウトする前に番号を編集できます。</p> <p>使用しない場合は、空白にします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><LDAP_Number_Mapping ua="na"><:9xx.></LDAP_Number_Mapping></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、マッピング番号を入力します。 <p>デフォルト：空</p>

LDAP ディレクトリ サービスの概要

次の図は、さまざまな認証方法におけるLDAPディレクトリアクセスのロジックを示しています。



450667

BroadSoft 設定の構成

BroadSoft ディレクトリ サービスを使用すると、個人、グループ、または会社の連絡先を検索して表示することができます。このアプリケーション機能は、BroadSoft の Extended Services Interface (XSI) を使用します。

セキュリティを強化するために、電話機のファームウェアがホストサーバとディレクトリ名の入力フィールドにアクセス制限をかけます。

電話機は、次の 2 種類の XSI 認証方式を使用します。

- ユーザ ログイン クレデンシャル：電話機は、XSI ユーザー ID とパスワードを使用します。
- SIP クレデンシャル：電話機に登録されている SIP アカウントの登録名とパスワード。この方式では、認証のために電話機で XSI ユーザー ID とともに SIP 認証クレデンシャルを使用することができます。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ2 [XSIサービス (XSI Service)] セクションで、[ディレクトリ有効 (Directory Enable)] ドロップダウンリストボックスから [はい (Yes)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Directory_Enable ua="na">Yes</Directory_Enable>
```

ステップ3 [XSI 電話サービスのパラメータ \(18 ページ\)](#) の説明に従って、フィールドを設定します。

ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

XSI 電話サービスのパラメータ

次の表で、電話機のウェブインターフェイスの [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] タブにある [XSI 電話サービス (XSI Phone Service)] セクションにおける、XSI ディレクトリパラメータの機能と使用方法を定義します。また、パラメータを設定するために、XML コードを含む電話設定ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 3: XSI 電話サービスのパラメータ

パラメータ	説明
[XSIホストサーバ (XSI Host Server)]	<p>サーバの名前を次のように入力します; 例、 xsi.iopl.broadworks.net</p> <p>(注) XSI ホストサーバは、デフォルトで http プロトコルを使用します。HTTPS を介した XSI を有効にするには、サーバで https:// を指定できます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XSI_Host_Server ua="na">https://xsi.iopl.broadworks.net</XSI_Host_Server></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、使用する XSI サーバを入力します。 <p>デフォルト: 空</p>

パラメータ	説明
[XSI認証タイプ (XSI Authentication Type)]	<p>XSI の認証タイプを決定します。</p> <p>XSIID とパスワードによるアクセスを認証するには、[ログインクレデンシャル (Login Credentials)] を選択します。電話機に登録されてる SIP アカウントの登録ユーザ ID とパスワードによるアクセスを認証するには、[SIP クレデンシャル (SIP Credentials)] を選択します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XSI_Authentication_Type ua="na">SIP Credentials</XSI_Authentication_Type></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、XSI サービスの認証タイプを指定します。 <p>有効値: ログイン情報 SIP ログイン情報</p> <p>デフォルト: [ログインクレデンシャル (Login Credentials)]</p>
[ログインユーザー ID (Login User ID)]	<p>電話機のユーザの BroadSoft ユーザー ID (例: johndoe@xdp.broadsoft.com)。</p> <p>XSI 認証タイプに対して [ログインクレデンシャル (Login Credentials)] または [SIP クレデンシャル (SIP Credentials)] を選択する場合、SIP 認証 ID を入力します。</p> <p>SIP 認証 ID を [SIP クレデンシャル (SIP Credentials)] として選択する場合、ログインユーザー ID を入力する必要があります。ログインユーザー ID がいない場合、BroadSoft ディレクトリは、電話帳リストの下に表示されません。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Login_User_ID ua="na">username</Login_User_ID></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、XSI サーバへのアクセスを認証するために使用するユーザ名を入力します。 <p>デフォルト: 空</p>

パラメータ	説明
[ログインパスワード (Login Password)]	<p>ユーザー ID に関連付けられている英数字パスワード。</p> <p>XSI 認証タイプに対して [ログインクレデンシャル (Login Credentials)]を選択する場合、ログインパスワードを入力します。</p> <p>デフォルト：空</p>
[SIP認証ID (SIP Auth ID)]	<p>電話機に登録されている SIP アカウントの登録ユーザー ID。</p> <p>XSI 認証タイプに対して [SIPクレデンシャル (SIP Credentials)]を選択する場合、SIP 認証 ID を入力します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <code><SIP_Auth_ID ua="na">username</SIP_Auth_ID></code> 電話機のウェブインターフェイスで、XSI サーバへのアクセスを認証するために使用するユーザ名を入力します。 <p>デフォルト：空</p>
[SIPパスワード (SIP Password)]	<p>電話機に登録されている SIP アカウントのパスワード。</p> <p>XSI 認証タイプに対して [SIPクレデンシャル (SIP Credentials)]を選択する場合、SIP パスワードを入力します。</p> <p>デフォルト：空</p>
[ディレクトリ有効 (Directory Enable)]	<p>電話機のユーザに対して BroadSoft ディレクトリを有効にします。</p> <p>ディレクトリを有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <code><Directory_Enable ua="na">Yes</Directory_Enable></code> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドを[はい (Yes)] に設定して、BroadSoft ディレクトリを有効にします。 <p>有効値: はいと いいえ</p> <p>デフォルト：[いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
ディレクトリ個別モードの有効化	<p>BroadSoft ディレクトリの個別モードを有効にします。このパラメータは、ディレクトリの有効化がはいに設定されている場合にのみ有効です。</p> <p>このモードが有効になっている場合、個別の BroadSoft ディレクトリ (企業、グループ、個人など) が電話機に表示されます。</p> <p>このモードが無効になっている場合、電話機には BroadSoft ディレクトリ だけが表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_Individual_Mode_Enable ua="na">Yes</XsiDir_Individual_Mode_Enable></pre>• 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいに設定して、BroadSoft ディレクトリの個別モードを有効にします。 <p>有効値: はい といいえ デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
[ディレクトリタイプ (Directory Type)]	<p>BroadSoft ディレクトリのタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [企業 (Enterprise)]: 姓、名、ユーザまたはグループ ID、電話番号、内線番号、部門、または電子メールアドレスで検索できます。 • [グループ (Group)]: 姓、名、ユーザー ID、電話番号、内線番号、部門、または電子メールアドレスで検索できます。 • [個人 (Personal)]: 姓、名、または電話番号で検索できます。 • 企業共通: ユーザが名前または番号で検索できるようにします。 • グループ共通: ユーザが名前または番号で検索できるようにします。 <p>このパラメータは、「ディレクトリの有効化」がはいに設定されていて、「ディレクトリの個別モードの有効化」がいいえに設定されている場合にのみ有効です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Directory_Type ua="na">Enterprise</Directory_Type></pre> • 電話機のウェブインターフェイスで、BroadSoftディレクトリのタイプを指定します。 <p>有効値: 企業、グループ、個人、企業共通、およびグループ共通 デフォルト: [企業 (Enterprise)]</p>

パラメータ	説明
[ディレクトリ名 (Directory Name)]	<p>ディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢として電話機に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Directory_Name ua="na">DirName</Directory_Name></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、電話機に表示するBroadSoft ディレクトリの名前を入力します。 <p>デフォルト：空</p> <p>値が空の場合、電話機は「BroadSoft ディレクトリ」を表示します。</p>
ディレクトリパーソナルの有効化	<p>電話機のユーザに対してBroadSoftのパーソナルディレクトリを有効にします。</p> <p>ディレクトリを有効にする場合は[はい (Yes)]を選択し、無効にする場合は[いいえ (No)]を選択します。</p> <p>このパラメータは、ディレクトリの有効化とディレクトリの個別モードの有効化がはいに設定されている場合にのみ有効です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_Personal_Enable ua="na">Yes</XsiDir_Personal_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいに設定して、ディレクトリを有効にします。 <p>有効値: はいと いいえ</p> <p>デフォルト：[いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
ディレクトリパーソナル名	<p>BroadSoft パーソナルディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢として電話機に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_Personal_Name ua="na">DirPersonalName</XsiDir_Personal_Name></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、電話機に表示するディレクトリの名前を入力します。 <p>デフォルト：空</p> <p>値が空の場合、電話機は「個人」を表示します。</p>
ディレクトリグループの有効化	<p>電話機のユーザに対して BroadSoft グループディレクトリを有効にします。</p> <p>ディレクトリを有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。</p> <p>このパラメータは、ディレクトリの有効化とディレクトリの個別モードの有効化がはいに設定されている場合にのみ有効です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_Group_Enable ua="na">Yes</XsiDir_Group_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいに設定して、ディレクトリを有効にします。 <p>有効値: はいと いいえ</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
ディレクトリグループ名	<p>BroadSoft グループディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢として電話機に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="857 527 1373 573"><XsiDir_Group_Name ua="na">DirGroupName</XsiDir_Group_Name></pre> <ul style="list-style-type: none"> 電話機のウェブインターフェイスで、電話機に表示するディレクトリの名前を入力します。 <p>デフォルト：空</p> <p>値が空の場合、電話機は「グループ」を表示します。</p>
ディレクトリ企業の有効化	<p>電話機のユーザに対して BroadSoft 企業ディレクトリを有効にします。</p> <p>ディレクトリを有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。</p> <p>このパラメータは、ディレクトリの有効化とディレクトリの個別モードの有効化がはいに設定されている場合にのみ有効です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="857 1220 1349 1266"><XsiDir_Enterprise_Enable ua="na">Yes</XsiDir_Enterprise_Enable></pre> <ul style="list-style-type: none"> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいに設定して、ディレクトリを有効にします。 <p>有効値: はいと いいえ</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
ディレクトリの企業名	<p>BroadSoft 企業ディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢として電話機に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_Enterprise_Name ua="na">DirEnterpriseName</XsiDir_Enterprise_Name></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、電話機に表示するディレクトリの名前を入力します。 <p>デフォルト：空</p> <p>値が空の場合、電話機は「企業」を表示します。</p>
ディレクトリグループ共通の有効化	<p>電話機のユーザに対して BroadSoft グループ共通ディレクトリを有効にします。</p> <p>ディレクトリを有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。</p> <p>このパラメータは、ディレクトリの有効化とディレクトリの個別モードの有効化がはいに設定されている場合にのみ有効です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_GroupCommon_Enable ua="na">Yes</XsiDir_GroupCommon_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドを はい に設定して、ディレクトリを有効にします。 <p>有効値: はいと いいえ</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
ディレクトリグループ共通名	<p>BroadSoft グループ共通ディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢として電話機に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_GroupCommon_Name ua="na">DirGroupCommon</XsiDir_GroupCommon_Name></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、電話機に表示するディレクトリの名前を入力します。 <p>デフォルト：空</p> <p>値が空の場合、電話機は「グループ共通」を表示します。</p>
ディレクトリ企業共通の有効化	<p>電話機のユーザに対して BroadSoft 企業共通ディレクトリを有効にします。</p> <p>ディレクトリを有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。</p> <p>このパラメータは、ディレクトリの有効化とディレクトリの個別モードの有効化がはいに設定されている場合にのみ有効です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_EnterpriseCommon_Enable ua="na">Yes</XsiDir_EnterpriseCommon_Enable></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいに設定して、ディレクトリを有効にします。 <p>有効値: はいと いいえ</p> <p>デフォルト：[いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
ディレクトリ 企業共通名	<p>BroadSoft 企業共通ディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢として電話機に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><XsiDir_EnterpriseCommon_Name ua="na">DirEnterpriseCommon</XsiDir_EnterpriseCommon_Name></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、電話機に表示するディレクトリの名前を入力します。 <p>デフォルト：空</p> <p>値が空の場合、電話機には「企業共通」と表示されます。</p>
ディレクトリパーソナルへの連絡先の追加	<p>ユーザーは、ローカルの個人アドレス帳の代わりに BroadSoft パーソナルディレクトリに連絡先を追加できます。</p> <p>このパラメータは、ディレクトリパーソナルの有効化がはいに設定されている場合にのみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ディレクトリパーソナルの有効化] を [いいえ] に設定し、[パーソナルディレクトリの有効化] が [はい] に設定されている場合、連絡先がローカルの個人アドレス帳に追加されます。 <p>[パーソナルディレクトリの有効化 (Personal Directory Enable)] は、[音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] の [ディレクトリサービス (Directory Services)] セクションにあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 両方のパラメータが [いいえ] に設定されている場合、ユーザーは電話機に連絡先を追加できます。 <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Add_Contacts_to_Directory_Personal ua="na">Yes</Add_Contacts_to_Directory_Personal></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドをはいに設定して、機能を有効にします。 <p>有効値: はいと いいえ</p> <p>デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パーソナルディレクトリを設定する

電話機のユーザは、ウェブインターフェイスから、または電話機の**連絡先**>**個人用アドレス帳**メニューから、パーソナルディレクトリを設定できます。設定ファイル (cfg.xml) ではパーソナルディレクトリのセットアップができません。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 パーソナルディレクトリタブを選択します。

ステップ 2 このタブでは、次の操作を行うことができます。

- **パーソナルディレクトリに追加** をクリックして、個人アドレス帳に連絡先を追加する。
連絡先エントリに最大 3 個の電話番号を追加できます。
- 連絡先の情報を編集するには、既存の連絡先エントリの**編集** をクリックします。
- 連絡先エントリの電話番号にスピードダイヤルのインデックスを割り当てるには、**割り当て** をクリックします。
- 既存の連絡先エントリを選択し、**連絡先の削除** をクリックして連絡先を削除します。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

名前の逆引きルックアップを有効にする

着信コール、発信コール、電話会議、コール転送で、番号の名前を逆引きルックアップ検索をします。電話機がサービスプロバイダーディレクトリ、通話履歴、または連絡先を使用して名前を検索できない場合、名前の逆引きルックアップが機能します。名前の逆引きルックアップには、有効な **BroadSoft (XSI) LDAP** ディレクトリ設定または **XML** ディレクトリ設定が必要です。

名前の逆引きルックアップでは、電話機の外部ディレクトリを検索します。検索が成功すると、コールセッションと通話履歴に名前が表示されます。同時に複数のコールがある場合、名前の逆引きルックアップでは 1 つ目の電話番号と一致する名前が検索されます。2 つ目のコールが接続または保留されたとき、名前の逆引きルックアップでは 2 つ目のコールに一致する名前が検索されます。逆引きルックアップは外部ディレクトリを 8 秒検索します。8 秒後に結果が見つからない場合は、名前の表示はありません。8 秒後に結果が見つかった場合、その名前は電話で編集されます。外部ディレクトリ検索の優先順位は **BroadSoft (XSI) > LDAP > XML** です。

優先順位の高い名前の前に優先順位の低い名前を受信した場合、検索では優先順位の低い名前が最初に表示され、優先順位の高い名前が8秒以内に見つかった場合は、優先順位の高い名前に置き換えられます。

BroadSoft (XSI) ディレクトリ内の電話番号一覧ルックアップの優先順位は次のとおりです。

1. 個人電話一覧
2. グループ共通電話一覧
3. 企業共通電話一覧

名前の逆引きルックアップは、デフォルトで有効になっています。

名前の逆引きルックアップでは、次の順序でディレクトリが検索されます。

1. 個人用アドレス帳
2. SIP ヘッダー
3. コール履歴
4. BroadSoft (XSI) ディレクトリ
5. LDAP ディレクトリ
6. XML ディレクトリ



(注) 電話機は次の形式を使用して XML ディレクトリを検索します。

```
directory_url?n=incoming_call_number
```

例：サードパーティ製サービスを使用するマルチプラットフォーム フォンの場合、電話番号 (1234) の検索クエリの形式は次のとおりです。

```
http://your-service.com/dir.xml?n=1234
```

始める前に

- 名前の逆引きルックアップを有効化または無効化するには、以下のいずれかのディレクトリを設定します。
 - BroadSoft (XSI) ディレクトリ
 - LDAP 社内ディレクトリ
 - XML ディレクトリ
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 補足サービスエリアで、電話機の逆引きルックアップサービスを はい (Yes) に設定して、この機能を有効にします。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Reverse_Phone_Lookup_Serv ua="na">Yes</Reverse_Phone_Lookup_Serv>
```

使用できる値は Yes|No です。デフォルト値は [はい (Yes)] です。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

■ 名前の逆引きルックアップを有効にする

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。